

新風会・公明
下牧一郎
議員



○ 定住対策について ○ ふるさと納税について

その他の質問

- ・ゼロカーボンシティ戦略について
- ・市民サービスの向上について
- ・防災対策について
- ・家庭の防災費補助について

議 来春には新幹線が開業し、東京がより身近になり、都内の企業に就職することが今まで以上に抵抗感が無くなる。

このような状況の中で、市内に就職し、定住しようとする若者が何人出てくるのか心配である。

若者に人気がある業種の会社は少なく、企業誘致も積極的に行われていない。

1年前にサテライトオフィスの誘致を提案したが、その後の進捗と誘致活動の具体的な内容を伺う。

理 議員ご提案の空き家を活用したサテライトオフィス誘致については、県の補助金創設や市の助成制度拡充などにより事業者への支援体制を整えている。

また、「かつやま創生プロモーター」を委嘱し、都市圏の企業ニーズ等の情報収集や企業紹介を行っているが、先行き不安により、事業の拡大に消極的な企業が多く、サテライトオフィスの誘致には至っていない。

現在、地域おこし協力隊が中心となり、市内の空き家を改築して、新たなまちの拠点を整備する計画がある。

市民同士の交流や異業種の交流、市内の建設業者との連携が期待され、市も積極的に支援していく。

議 神奈川県相模原市は、去年8月から市内の遊園地やキャンプ場などを備えたレジャー施設にふるさと納税ができる自動販売機を設置し、利用者に喜ばれている。これは、返礼品に差別化が図れない部分をアイデアで補い、ふるさと納税を少しでも多く集めようとしている事例である。

当市でも、道の駅や恐竜博物館などに設置して入場券やお土産、これからオープン予定のホテルの宿泊料に使えば、利用者にも喜ばれるのではないかと。

理 自動販売機であれば、観光等で訪れたときの気軽な寄付や寄附を通じた交流人口の増加も期待できる。全国事例では、ゴルフ場などリゾート施設の利用券や宿泊施設など比較的高額な返礼品を対象として活用されている。

自動販売機の設置については、その効果と設置費用、ランニングコスト等も考慮し、前向きに検討していく。

近藤栄紀
議員
市政会



○ 野外宿泊所について ○ 除雪について

その他の質問

- ・子ども政策をはじめとする人口減少対策について
- ・にこにこ地域づくり交付金事業について
- ・長山公園、中央公園について
- ・観光の産業化について

議 当市でアウトドアを楽しむ場所といえば、芳野原オートキャンプ場のみになっている。

再開する岩屋キャンプ場、休止になっている東山いこいの森、それぞれの状況を伺う。

理 北郷町伊知地の空き倉庫を物流倉庫として取得した大阪の民間企業が、令和2年度末に廃止となった岩屋オートキャンプ場をキャンプ場の運営を行うため取得したいと申し出た。土地の賃貸借契約締結に向けて地権者と企業が協議しており、契約がまとまり次第、市と炊事棟等の貸付契約を締結する予定である。

東山いこいの森は現在、キャンプ場の運営を希望する民間事業者とキャンプ場事業再開に向けて、現地での施設確認や条件整備などの協議を進めている。

市は、施設の環境保全のため、給排水設備の保守や施設の清掃整備、キャンプ場敷地に隣接する市有林の間伐などを行っている。

民間事業者は、令和5年7月中の再開を目指しており、6月定例会には所要の手續きをお諮りしたい。

議 北郷まちづくり会館から新町区間の通学に使われる歩道が、3年前から除雪されていない。このような状況の歩道は他にもあるのか。

奥越土木の管轄ではあるが、今後の市の対応を伺う。

理 議員ご指摘の箇所の除雪を担当する奥越土木事務所に確認したところ、歩道除雪は原則、小学校から半径500mの範囲の通学路を実施しており、この区間は範囲外のため除雪していないとのこと。

この区間は、歩道を備えた2車線道路として道路拡幅事業に着手したが、地権者の理解を得られず、北郷まちづくり会館付近の200mほどしか事業を進められなかった。

そのため、前後の道路が普通自動車のみでも難しく、連続していない一部の歩道を除雪する効果が十分に発揮できない状況である。

なお、市道も含めて通学路でありながら除雪されていない歩道がないか確認したところ、国道や県道、市道において同様な状況の箇所はなかった。